

第8回岡山行政法実務研究会のお知らせ

第8回「岡山行政法実務研究会」を下記のとおり開催しますので、ご出席下さいますようご案内申し上げます。また、自治体法務に興味のある多くの自治体職員の皆様の参加・登録も受け付けていますので、広く参加の呼びかけをお願いいたします。

ご多忙のことは存じますが、よろしくお願い申し上げます。

記

- 1 日 時 平成27年5月16日（土） 午後1時から2時間半程度
- 2 場 所 岡山大学津島キャンパス 文化科学系総合研究棟2階 共同研究室
- 3 テーマ 「自治体内部における適法性統制機能について～総務・法務部門の役割を中心に～」

- ・基調講演 40分程度 南川和宣氏（岡山大学大学院法務研究科教授）
「判例評釈：パチンコ店の出店を妨害する目的でなされた市立図書館の設置が違法であるとされた事例（東京地判平成25年7月19日）」

- ・ディスカッション 90分程度

※企画の趣旨：パチンコ店の出店を妨害する目的でなされた市立図書館の設置行為が違法であるとして自治体に対し多額の損害賠償を命じた裁判例（東京地判平成25年7月19日）を素材に、総務・法務部門の担当者は自治体の意思形成過程においてどのような役割を担い、首長や議会との関係はどうあるべきか、また、自治体の外部から意思形成過程に関与する顧問弁護士や外部学識経験者はそれぞれどのような役割を果たすことができるのかについて、同事件を検証する形で、様々な立場の会員の皆様と議論を深めていきたいと考えております。

- 4 その他 参加希望の方は、Eメール（ocat-office@law.okayama-u.ac.jp）にて事務局まで出欠をお知らせ下さい。

岡山市北区津島中3丁目1-1
岡山大学法科大学院弁護士研修センター内
岡山行政法実務研究会幹事
岡山大学教授・弁護士 吉野夏己
TEL 086-251-8412

【参考】 岡山行政法実務研究会

第1回 平成25年5月18日

テーマ「行政法学における理論と実務の架橋」

小林裕彦（弁護士・総務省地方制度調査会委員）

「政府地方制度調査会の議論の状況と今後の検討課題」

岡田雅夫（日本公法学会理事・岡山大学名誉教授）

「行政法学における理論と実務の架橋」（※臨床法務研究第12号15頁）

第2回 平成25年8月24日

テーマ「空き家に関する諸問題 ―空き家対策の政策法務―」

矢吹龍直郎（瀬戸内市）

「空き家問題を巡る自治体の対応」

坂本純平（岡山大学総務企画部法務コンプライアンス対策室・弁護士）

「空き家対策条例に基づく執行方法 ―所有者不明の場合を中心に―」

南川和宣（岡山大学法科大学院准教授）

「空き家対策条例の制定にかかる行政法上の問題点」

高原成明（津山市）

「空き家対策に係る誘導的手法の検討 ―税制面でのディスインセンティブを中心に―」（※以上、臨床法務研究13号61頁以下）

第3回 平成26年2月22日

テーマ「廃棄物処理を巡る法的諸問題」

藤田求（岡山市環境局産業廃棄物対策課監理係副主査）

「岡山市における行政処分の実例」

吉沢徹（岡山大学大学院法務研究科教授・弁護士・元検事）

「廃棄物処理法違反での立件を巡る諸事例」

神例康博（岡山大学大学院法務研究科教授）

「廃棄物処理法違反の罪をめぐる解釈論的諸問題 ―不法投棄罪を中心に―」

（※臨床法務研究13号115頁）

第4回 平成26年3月9日

テーマ「交通政策基本法と公設民営」

小嶋光信（一般財団法人地域公共交通総合研究所代表理事（理事長）・両備グループ代表・CEO）

第5回 平成26年7月5日

テーマ「地域公共交通の諸問題について」

新仁司（玉野市財政部契約管理課長）

「玉野市の地域交通計画について」

加藤博和（名古屋大学大学院環境学研究科准教授）

「激動する地域公共交通関連法制度」

（※以上、臨床法務研究14号25頁以下）

第6回 平成26年11月29日（※岡山公法判例研究会と共催）

テーマ「行政不服審査法の改正と自治体の対応」

伊藤治彦（岡山商科大学教授）

「改正行政不服審査法について」

添田徹郎（総務省行政管理局行政手続室 室長）

「行政不服審査法改正と自治体の対応」

シンポジウム・水田健一（岡山県総務部総務学事課課長）ほか

（※以上、臨床法務研究15号掲載予定）

第7回 平成27年3月14日

テーマ「自治体法務の課題」

大山亮（福山市企画総務局総務部総務課調整員（政策担当）・元岡山弁護士会所属）

「任期付公務員として1年を過ごして－自治体の内部から見た法務」

金馬健二（元裁判官・弁護士）

「裁判官からみた自治体法務について」

※その他

「平成26年度に、吉野教授と南川准教授が、真庭市の再生可能エネルギー発電事業条例制定にかかり、条例案について意見を述べるなどの支援活動を行いました」